



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略 2.0 最前線

戦略は実感へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



農林政策課 995-1823

森林由来のJ-クレジットを創出

市では、市内の豊かな森林資源を有効に活用し、国が推進する「J-クレジット制度」を通じた新たな取り組みを開始しました。森林が持つ二酸化炭素（CO₂）の吸収力を環境価値（クレジット）に換えることで、地球温暖化対策の推進と持続可能な森林整備を両立させ、豊かな自然を未来へつなぐ循環型のまちづくりを目指します。

森林保全整備に貢献できるJ-クレジット

J-クレジットとは、森林が吸収した二酸化炭素の量を国の審査を経て環境価値として売買できる仕組みです。森林を所有・管理する自治体や事業者は、このクレジットを企業などに売ることによって得られた資金を、新しい植林や森の手入れといった将来の森林保全活動に活用できます。



出典：農林水産省ウェブサイト

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/J-credit.html

一方で、地球温暖化対策としてCO₂削減を求められている企業などは、自社の削減努力だけでは減らしきれない排出量をこのクレジットを購入することで排出量の一部をオフセット（相殺）することができるため、CO₂排出の相殺と同時に日本の森を守る社会貢献を果たすことができます。ずっと住み続けたい裾野市を目指し、市民の皆さん、そして事業者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

深良財産区の森林でJ-クレジット創出へ

深良財産区所有の森林のうち、森林経営計画を策定している切遠地区、原地区、上原地区の森林でJ-クレジットを創出するプロジェクトを開始しました。約200haの森林で年間1,000t程度のクレジット創出を見込み、7月にはクレジットの創出から売却までを一括して担う事業者が決定しました。令和9年度からのクレジット販売開始を目指し、国の認証に向けた調査や手続きを進めていきます。

この取り組みをモデルケースとして他の森林への展開を検討し、脱炭素社会の実現と持続可能な森林整備の双方を推進していきます。



すくすく
成長中!

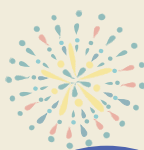
裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

申 誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



なつり
笠間 七莉さん
2歳11カ月
中丸上



ふうま
太田 楓真さん
2歳10カ月
御宿新田



ようた
高田 遥太さん
2歳9カ月
御宿坂上



いちか
小林 一花さん
2歳9カ月
公文名四



ゆあ
坂谷 悠亜さん
2歳9カ月
上原



9月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休館日／7日(月)・14日(月)・17日(木)・24日(木)・28日(月)



📍鈴木図書館 992-2342 📍文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

ふたりの読書会

著者：向井 和美
出版社：岩波書店

「こんな私でも参加できる読書会はないでしょうか？」服役中の受刑者から届いた一通の手紙によって始まった、読書をめぐる往復書簡をたどります。紙の上で進行する2人だけの読書会から、本を読むことの意味を教えてくれる一冊です。



児童書

コット、はじめてのドライブ

作・絵：阿部 結
出版社：佼成出版社

幼いコットの目に映るものはふしぎなことばかり。父親は自然の限らない営みを教えます。「ずっとかわらないことってあるのかな」という問いの答えとは？暖かい対話と光の描写が魅力的。優しさにつつまれた幸せな時間が描かれています。



行事予定

市立鈴木図書館

えほんのじかん

📅 18日(金)、25日(金) 11時30分～12時

※プログラムは各日異なる内容

👤 未就学児とその保護者

📍 裾野高校保育系列3年生による読み聞かせ

親子おはなし広場

📅 1日(火) 10時30分～11時

おはなしの会

📅 5日(土) 11時～11時30分

ベビー&キッズタイム

📅 9日(水) 9時～12時

文化センター図書室

おはなしの会

📅 12日(土) 11時～11時30分

親子おはなしの会

📅 15日(火)
10時30分～
10時50分



人 すそのびと Susonobito No.86

全国少年少女空手道選手権大会に出場

おとは
田村 乙葉さん
本村下・9歳



田村さんは、8月13日(木)から開催される全国少年少女空手道選手権大会の形競技に出場します。年中の頃、兄や友達が空手をやっていたことや自分の身を自分で守りたいと思ったことをきっかけに空手を始めました。

日々の練習では、先生から指導されたことや、鏡を見て気付いた自身の動きを直すように意識して稽古に取り組んでいます。「頑張って練習した成果が大会の結果に現れると、練習が楽しいと感じるようになります。

す」と笑顔で語る田村さん。ひたむきに自分と向き合う姿勢が着実な実力へとつながっています。

県大会では、「1回戦は緊張したけれど、次からは緊張がほぐれて実力を発揮できました」と持ち前の集中力で勝ち抜き、見事に5位という成績を収め、全国大会出場への切符を掴みました。全国大会では目標のベスト8を目指して全力で戦い抜きます。

田村さんは自身の将来について、「空手の先生になりたい。選手としては全部の大会で1位から3位をとりたいです」と、目を輝かせながら語りました。日々の努力の積み重ねを揺るがない自信に変え、さらなる高みを目指して挑戦を続けていきます。

